

イトーキ、関西物流センターを「GLP ALFALINK 茨木 3」に移転し、 9 月 1 日（月）より稼働

-西日本供給網を再編し、効率化と働きやすさを両立-

株式会社イトーキ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：湊 宏司）は、物流効率化の観点から、関西物流センターを「GLP ALFALINK 茨木 3」（大阪府茨木市）に移転し、2025 年 9 月 1 日（月）より稼働を開始します。

関西物流センターは関西 2 府 4 県（大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県）への製品供給の拠点となります。本移転により、西日本全域への製品供給を担う「滋賀ロジスティクスセンター」（滋賀県近江八幡市）と合わせ、西日本の供給網を再編し、配送効率を高めるとともに働く環境の質向上を図ります。



「GLP ALFALINK 茨木 3」外観

■移転の背景

現行の関西物流センターは 1975 年 10 月の開設以来、約 50 年にわたり稼働してきました。しかし、建物の老朽化や耐震性能の面での安全性確保に加え、5 階建てで上下搬送が必要な構造による作業効率の低下といった課題を抱えていました。

こうした状況を踏まえ、物流業務の継続性と安全性を確保するとともに、将来を見据えた効率的かつ持続可能な体制構築を目的に、戦略的な移転を決定しました。新拠点では約 2,000 坪のワンフロア構造を採用し、搬送時間を短縮。さらに滋賀ロジスティクスセンターと連携し、西日本全域の集約拠点としての機能を強化します。

■新拠点の狙いと特徴

西日本供給網の再構築と効率化

大阪・京都・神戸中心部へ 30 分圏内という好立地を活かし、関西 2 府 4 県を広くカバーする中核拠点として稼働機能します。名神高速「茨木 IC」や近畿道「摂津北 IC」など主要高速道路へのアクセスに加え、空港・港湾との連携も容易で、長距離輸送から都市部配送まで柔軟に対応可能です。また、滋賀ロジスティクスセンターとの連携により、西日本全域の供給網を再構築。首都圏の「東京 BASE」と同様の中継・集約機能を関西圏にも整備し、在庫・輸送拠点の最適配置によって配送時間の短縮と安定供給を実現します。

物流機能の集約と高度化

オフィス製品や建材の在庫・配送を一元管理する拠点として移転後に順次機能を拡充し、入出庫オペレーションの効率化を図ります。約 2,000 坪のワンフロア構造を採用することで上下搬送時間を削減し、作業効率を大幅に向上させるとともに、集約拠点としての在庫・配送管理の最適化を進めます。

人材確保と働きやすさの両立

当社はオフィスワーカーが働く空間づくりを「経費」ではなく「投資」と位置づけ、従業員が高いエンゲージメントを持ち、生産性を最大限に発揮できるデザインを追求してきました。

新拠点は、外部パートナーと連携を強化する「オペレーションルーム」、社内連携を強化し主体性のある働き方を実現する「協創オフィス」、スタッフのエンゲージメント向上に貢献する「リフレッシュスペース」などで構成。特に、社員と協力会社がともに滞在する拠点だからこそ、オフィスワーカー同士のつながりとコミュニケーションを重視。東京拠点で掲げたコンセプト「Connecting & Communication」を踏襲し、広めの通路や共用スペースを設けることで、自然な交流や部門横断の連携を促進しています。

「オペレーションルーム」は無彩色をベースに深みのある色や上質な素材を組み合わせ、落ち着いた雰囲気演出しています。一方、「協創オフィス」と「リフレッシュスペース」はニュートラルカラーとシンプルな素材を用い、穏やかで清潔感のある印象を創出しました。座席はフリーアドレス制とし、カウンター席、ファミレス席、ボックスベンチ、カフェテーブルなど、多様なワークスペースを整備。業務内容や気分に合わせて好きな場所を選べる環境を提供しています。こうした自由度と居心地の良さにより、快適に働き続けられる職場環境を実現し、人材の定着と長期的な活躍を支えます。



外部パートナーと連携を強化する「オペレーションルーム」



社内連携を強化し主体性のある働き方を実現する「協創オフィス」



スタッフのエンゲージメント向上に貢献する「リフレッシュスペース」

災害対応と BCP 強化

新拠点は免震構造が採用されており、地震発生時の安全性と事業継続性を確保しています。非常用発電設備を備え、停電時にも必要な電力を確保できる体制を整備。さらに、大雨・洪水リスクの低い立地を選定し、災害時の影響を最小限に抑えます。これらの設備・立地条件により、緊急時でも物流機能を維持し、お客様への安定供給を支える体制を構築します。

【新拠点概要】

名称	イトーキ関西物流センター
所在地	大阪府茨木市南目垣 3 丁目 2 番 1 号 GLP ALFALINK 茨木 3 6F
稼働開始	2025 年 9 月 1 日（月）
倉庫敷積	約 2,000 坪
事務所面積	約 80 坪
構造	地上 6 階建（倉庫エリアはワンフロア運用、耐火構造、免震構造）
配送エリア	関西 2 府 4 県（大阪・京都・兵庫・滋賀・奈良・和歌山）
アクセス	名神高速「茨木 IC」5.5km、近畿道「摂津北 IC」3.7km、JR 茨木駅 4.2km ほか

【イトーキのワークプレイス事業について】

株式会社イトーキは 1890 年創業。ミッションステートメントに『明日の「働く」を、デザインする。』を掲げ、オフィス家具の製造販売、オフィス空間デザイン、働き方コンサルティング、オフィスデータ分析サービスのほか、在宅ワークや家庭学習用家具、公共施設や物流施設向け機器など、“Tech×Design based on PEOPLE”を強みに、さまざまな「空間」「環境」「場」づくりをサポートしています。

ハイブリッドワークが普及し働く場所や働き方の多様化が進むなか、生産性や創造性を高める空間 DX、最適なオフィス運用を伴走型で支援するコンサルティングサービスなども展開。外部デザイナーやパートナー企業との協業も積極的に行い、これからの新しいワークスタイルとワークプレイスを提案しています。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション統括部 広報課 松尾

TEL : 03-6910-3910 MAIL : itk-pr@itoki.jp

【本件に関する IR お問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション統括部 IR・SR 部 木場

TEL : 03-6910-3910 MAIL : itk-ir@itoki.jp

以上